

恋愛心理の原点に、強烈なエゴをみていたマリヴォー！

人には隠しておきたい心の裏側を、容赦なく暴くマリヴォーのブラックユーモアはヨーロッパでは観客お気に入りの現代劇。だが実はこの人、18世紀フランスの古典作家である。これを演ずる俳優たちは、ほとんど裸同然の過酷な舞台上、ひたすら自分の肉体と言葉を駆使する。マリヴォー劇はかれらにとって言葉と肉体を武器としたごまかしようの無い戦いの場なのだ。おおがかりなスペクタクルや、リアルな現代社会劇とは別の言語表現・肉体表現のアンサンブル・・・。

1992年から3年間、劇団桜花舎は、マリヴォー劇11作品の連続上演を実現した。劇団解散後から8年、ふたたび東京・両国からその強烈なメッセージを送り始める。21世紀シリーズの開幕はマリヴォーとしては異色のテーマの一幕ものを2本立てで！（守輪咲良）

守輪咲良プロフィール

1972年、渡米、ニューヨーク・アクターズ・スタジオでリー・ストラスバーグに直接師事。

1982年、帰国。

1992年、渋谷ジャンジャンで「桜花舎・マリヴォーシリーズ」をスタート、わずか数十人の観客とともに始まった「若者たちのマリヴォー」は、3年後に第10弾に達し、青山山形劇場で「愛と偶然の戯れ」を上演、目標の観客数1000人を達成。



いさかい 恋愛の原点に潜む狂暴なエゴを暴く実験劇！

愛の裏切りは男が先か、女が先か？恋愛の原点を原始にさかのぼって探ろうと、男女四人の若者たちが森のなかで完全隔離して育てられる・・・。文明のタブーを知らない彼らの赤裸々な言語は、現代の観客たちにショックを与えながら、ナルシズムを、愛を、嫉妬を、そして強烈な他者体験を語り始める・・・。

奴隷島 18世紀ユートピア劇の最高傑作！

「奴隷島」とは昔、横暴な主人たちに反抗して逃亡した奴隷たちの共和国。アテネの貴族と奴隷の男女二組が嵐にあって難破し、この島に漂着した。島の長からさっそく身分の交換を命じられ、それぞれが新しい運命を辿り始める。そのなかで初めて発見する真のアイデンティティとは・・・。大革命のろしもまだ見えぬ世紀前半、マリヴォーが早くも夢見たユートピアとは・・・。

日時：2005年9月20日（火）19時開演
9月21日（水）14時開演・19時開演
9月22日（木）19時開演

※会場は、開演の30分前となります。

料金：前売3,500円 当日3,800円（全席自由・指定なし）

学生割引 2,800円（入場時に要学生証提示）

8月8日・前売り発売

制作：（有）咲良舎

【前売予約・お問い合わせ】

咲良舎 TEL&FAX 03-3726-6887

Mobile-Phone 090-9811-3533

シアターコレクティブ事務局

TEL 03-5624-1181 FAX：03-5624-1155

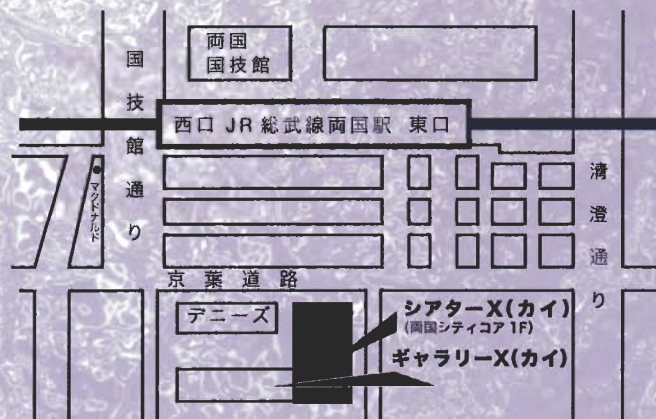
http://www.sakuranotayori.com

E-mail：sakura-sha@sakuranotayori.com

劇場：シアターX(カイ)

東京都墨田区両国2-10-14 両国シティコア内

03-5624-1181



NPO シアターコレクティブ・レパトリー 2005

「マリヴォー研究会」のお知らせ

8月28日（日）14:00～16:00

※当日ビデオ上映による説明あり。

於・ギャラリーX(カイ) 参加費無料！

※どなたでも参加できます、ふるってご参加ください。

